

IMS グループ 広報誌 フラザイムス

PLAZA IMS

春号 Vol.67

板橋中央総合病院

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。



腎臓のスペシャリストが
血液透析から腎移植までの
すべての腎代替療法に対応

CONTENTS

腎臓内科、臓器移植センターのご案内

血液透析・腹膜透析・腎移植の違い

IgA 腎症

オンラインセカンドオピニオン

Itachu News

腎臓のスペシャリストが、血液透析から腎移植までのすべての腎代替療法に対応

腎臓内科



院長補佐／内科統括部長

医師 塚本 雄介

当院の腎臓内科は7名の医員（内6名専門医）と腎臓病理専門医1名で行っています。（令和4年度時点）

また、腎臓外科7名と共同で腎臓病センターを構成し、腎臓病に関する診療は全て行える体制を整えております。

当センターで可能な治療域は、1) CKD（慢性腎臓病）診療、2) 腎生検による病理診断に基づく免疫抑制療法を含む治療、3) 末期腎不全における患者さまのリスクを低減する診療、4) 血液透析、腹膜透析、腎移植といった全ての腎代替療法と必要なアクセスの作成、5) 水電解質異常、副甲状腺機能異常、副腎機能異常、6) 急性腎障害の血液浄化療法、7) 他診療科による維持透析患者さまの合併症治療のサポート等です。

当院の最大の特徴はこれら求められる全ての技術を有するだけでなく、入院による血液浄化療法をICU・CCUにて、最大40名まで行えることです。また、外来診療は送迎の不要な維持透析患者さまに限って最大100名まで可能です。

CKD（慢性腎臓病）外来も毎日行っており、地域のかかりつけ医と併診で行う共同診療をモットーにしています。腎臓のことで何か気になる症状がございましたら、いつでもご相談ください。



臓器移植センター（移植外科・腎臓外科）



臓器移植センター（移植外科・腎臓外科）

センター長 医師 中島 一朗

腎臓は沈黙の臓器とも呼ばれており、厄介なことに病態がかなり進行しなければ症状は現れません。慢性腎臓病（CKD）と診断され、末期腎臓病（CKD 分類 G5）に至ると最終的にはご自分の腎臓では生命を維持することも困難となり、それに代わる方策としての腎代替療法が必要となります。腎代替療法には透析（血液透析、腹膜透析）と腎臓移植があり、最適な治療法を患者さんと医療者が共に考え、選択することが重要になります。

腎代替療法の選択において欧米を中心とした他国の現状と比較いたしますと、わが国においては血液透析を選択する割合が極端に多く、2020 年末におけるわが国の慢性透析療法の現況によると、腹膜透析患者も含めた透析患者全体に占める血液透析患者の割合は 97% で、腎代替療法患者全体に占める割合においても 95% を越えているのに対し、2020 年における腎移植臨床登録集計では、腎臓移植患者は腎代替療法患者全体の 4% にすぎません。

透析に比較して腎臓移植が優れた点として、QOL の改善は無論のこと、医療経済性や中長期的な生命予後の改善なども指摘される一方で、生体腎移植が移植全体の 90% 以上を占め、亡くなった方からの臓器提供による献腎移植数は停滞傾向であります。

このような社会環境のなか、東京女子医科大学腎臓外科で腹部臓器移植（腎臓、膵臓、肝臓）に従事していた臓器移植のエキスパートである 7 名の医師（移植認定医 6 名、腎移植認定医 6 名）が、2020 年 4 月より板橋中央総合病院臓器移植センターの一員として腎臓移植を再スタートさせました。まさにコロナ禍に合わせたかの如くの船出であり、通常診療に少なからず影響を及ぼしたタイミングではありましたが、2020 年に 29 件（全国 10 位）、2021 年には 38 件の腎臓移植を実施いたしました。

現在板橋中央総合病院においては、透析療法は無論のこと、腎臓移植を含めた腎代替療法のすべてを提供することが可能です。腎臓病でお悩みの方は是非一度当院にご相談いただければと思います。

血液透析・腹膜透析・腎移植の違い

	血液透析	腹膜透析	腎移植
メリット	実績のある治療法	血液透析に比べてやや自由度が高い	透析からの解放 中長期的生命予後の改善 腎機能が正常に近い状態になる
デメリット	バスキュラーアクセスの問題 血圧低下等	カテーテルの感染 腹膜の透析膜としての寿命がある等	拒絶反応の可能性 全身麻酔での大規模な手術 (腎機能障害による透析再導入の可能性)
腎機能	治癒はしない	治癒はしない	正常に近くなる
合併症	多い	多い	透析に比べ少ない
食事・飲水の制限	多い (蛋白質・水分・塩分・カリウムなどに気を付ける必要がある)	やや多い (水分・塩分・リンなどに気を付ける必要がある)	少ない
旅行	制限あり (透析施設の手配準備)	制限あり (透析液などの準備)	自由
通院回数	週3回	月1~2回程度	移植後は定期的に通院

腎臓内科

塚本医師が率いる、透析チームが診療・治療を担当しています。



◀ 腎臓内科ページ

臓器移植センター (移植外科・腎臓外科)

中島医師が率いる、臓器移植のエキスパートである7名の医師(移植認定医6名、腎移植認定医6名)が、診療・治療を担当しています。

臓器移植センター専門サイト ▶





IgA 腎症

IgA というのは免疫を守るタンパク質の一種です。多くは扁桃腺や腸に存在して私たちの体を細菌から守ってくれています。しかし、扁桃炎を繰り返していたり、腸炎を繰り返したりすると変性して腎臓の糸球体にくっつき、IgA 腎症を起こします。小児から若年層に多いのですが、最近では高齢者でも時々見つかります。

どんな症状が出るのか？

特徴的なのは血尿で熱を出すとすぐに尿が紅茶色になることが多いです。軽いうちは血尿だけですが、悪くなると蛋白尿も出てきて次第に腎臓の働きを失わせることとなります。尿蛋白が1日0.5g以上出ると少し危険な兆候です。特に1g以上ではすぐに治療を始めます。腎不全になる危険性のある慢性糸球体腎炎のうちでIgA 腎症が日本人に最も多い腎炎です。放っておくと約30%程度が腎不全になる危険性があります。逆に70%は放っておいても大丈夫ということではあります。

IgA 腎症の診断方法

血液検査でIgAが高いこともありますがあまり当てになりません。診断には腎生検が必須です。

IgA 腎症の治療方法

腎生検の結果

今後進行する危険性が高い

ステロイド療法

※若い時に扁桃炎を繰り返している場合はステロイド療法に先立ち、扁桃腺を摘出する手術をする（よりステロイドの効果を増すことになる場合が多いため）

当院で実施しているステロイド療法

メチルプレドニゾン1gの点滴を3日間入院して行うステロイドパルス療法を行います。この療法を2ヶ月間隔で計4回行い、その間にプレドニンを毎日30mg服用します。合計6ヶ月間行くと、この治療法が効果的であれば蛋白尿が0.5g以下になり進行を止めることができます。効いても効かなくても、その後2ヶ月間かけて徐々にプレドニンを減量して中止します。

気になる方は腎臓内科へご相談ください

03-3967-1181 (代表)

予約制

受付時間 8:00~12:00、12:40~16:30

診療時間 9:30~、14:00~

オンラインセカンドオピニオン

セカンドオピニオンとは、当院以外の医療機関に入院または通院されている患者さまを対象に、当院の専門医が患者さまの主治医からの情報をもとに、診断内容や治療法等に関して助言を行うことを目的とする外来で、その意見や判断を患者さまがご自身の治療法を選ぶ際の参考としていただくためのものです。当院では、腎臓関連のセカンドオピニオンをオンラインで実施しております。遠くに住んでいるから来院は難しいけど、相談したいという方はぜひご検討ください。

じんぞう病に関するオンラインセカンドオピニオン外来

担当医 院長補佐 / 内科統括部長
塚本 雄介

診察日 ・ 第1・2・3・5 火曜日 15:00 ~ 17:00
・ 第4 火曜日 16:00 ~ 17:00
1日最大2名までご予約可能
※ご予約は診察希望日の7日前までにお済ませください。

腎代替療法に関するオンラインセカンドオピニオン外来

担当医 臓器移植センター（移植外科・腎臓外科） 臓器移植センター長
中島 一朗

診察日 第1・3 木曜日 14:00 ~ 16:00
1日最大2名までご予約可能
※ご予約は診察希望日の7日前までにお済ませください。

ご受診には主治医からの診療情報提供書が必要ですので、事前にご準備ください。
ご予約は専用アプリ「CLINICS」にてお願いいたします。
所要時間や料金等の詳細情報はホームページをご覧ください。

オンラインセカンドオピニオンページはこちら▶





診 療

情 報

初診時の選定療養費が変わります

当院では、国が病院と診療所の役割分担を推進するために定めた制度による『初診時の選定療養費』を徴収させていただいております。

※『初診時の選定療養費』とは、患者さまが他の医療機関からの紹介状を持参されずに200床以上の病院（当院は569床）を受診された場合に、健康保険の初診料とは別に徴収させていただく医療費のことです。

これまでは初診時の選定療養費を5,500円（税込）とさせていただいておりましたが、2022年4月より、6,600円（税込）に変更させていただきます。ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

3回目のコロナワクチン接種を行っています

新型コロナワクチンの3回目接種を1月から開始しました。

【3回目接種について】 使用ワクチン：モデルナ
2回目の接種日から、6ヶ月以上経過後に接種可能

【ご予約について】

■板橋区新型コロナワクチンコールセンター
（受付時間：午前9時～午後6時 土日祝対応）

0120-985-252

■インターネット予約 ▶
接種券に記載されている番号が必要になりますので、お手元に接種券をご用意ください。

ワ ク
チ ン



講 座

案 内

4月開催の無料公開医療講座

痛みが少なく、回復が早い 腹腔鏡下手術とそけいヘルニア

日時：4月13日（水）10時00分～11時00分（受付9時45分～）

講師：板橋中央総合病院 消化器病センター（外科）医師 松下 公治

ご予約・お問い合わせ

C館1階 企画広報室（オレンジカウンター横）03-3967-1181（代表）

WEBお申し込みフォームからお申込みいただけます。



〈理念〉

安全で最適な医療を提供し、「愛し愛される病院」として社会に貢献する。

〈基本方針〉

1. 私たちは、「求められる」医療を提供するために創意工夫します。
2. 私たちは、地域連携を強化し、地域包括ケアシステムに貢献します。
3. 私たちは、コミュニケーション能力を備えたプロフェッショナルな職員を育成します。



◀ 板橋中央総合病院公式 LINE アカウント



◀ 板橋中央総合病院公式チャンネル「Ita Tube」 YouTube

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 2-12-7

都営地下鉄三田線「志村坂上駅」下車 A1 / A3 出口より徒歩 1 分

03-3967-1181 (代表)

<https://ims-itabashi.jp/> ▶



病院受診、入院・介護施設選びに困ったら イムス総合サービスセンター (GSセンター) へ



STEP 1 相談

GSセンターにお電話かHPのメールフォームでご相談を！
相談窓口専任スタッフがみなさまのお悩みをお伺いします。

STEP 2 情報提供

IMSグループ医療機関の選定、医療機関・制度などの情報提供。
GSセンターで可能なコーディネート内容の紹介など。

STEP 3 受診決定

ご希望とマッチングした際、IMSグループ医療機関へ受診決定！
【外来受診】受診希望施設へ受診日・時間（予約含む）・
対象者さま基本情報等の連絡
【入院（所・居）・転院】希望施設の医療福祉相談室担当者を紹介

好評配信中
疾患別セルフチェック

健康セルフチェック



gscenter@ims.gr.jp

◎右のQRコードをご利用いただくと便利です。
◎24時間365日受付。2営業日以内にご返信します。



FREE 0800-800-1632

※「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。
受付時間 / 平日 8:30~17:30 土曜日 8:30~12:30 (日祝・年末年始休み)

イムス総合サービスセンター
<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>



IMS(イムス)グループ 医療法人社団 明芳会

板橋中央総合病院

板橋中央総合病院 地域広報誌 PLAZA IMS(プラザイムス) Vol.67 春号

発行：板橋中央総合病院 企画広報室

発行日：2022年4月